

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トウ→ミー

To Me

7
Jul 2018
Vol.278



ときめき人

小林 功さん

【特集】

明治150年

【今月の表紙】

とよま茶会から
(関連記事10ページ)

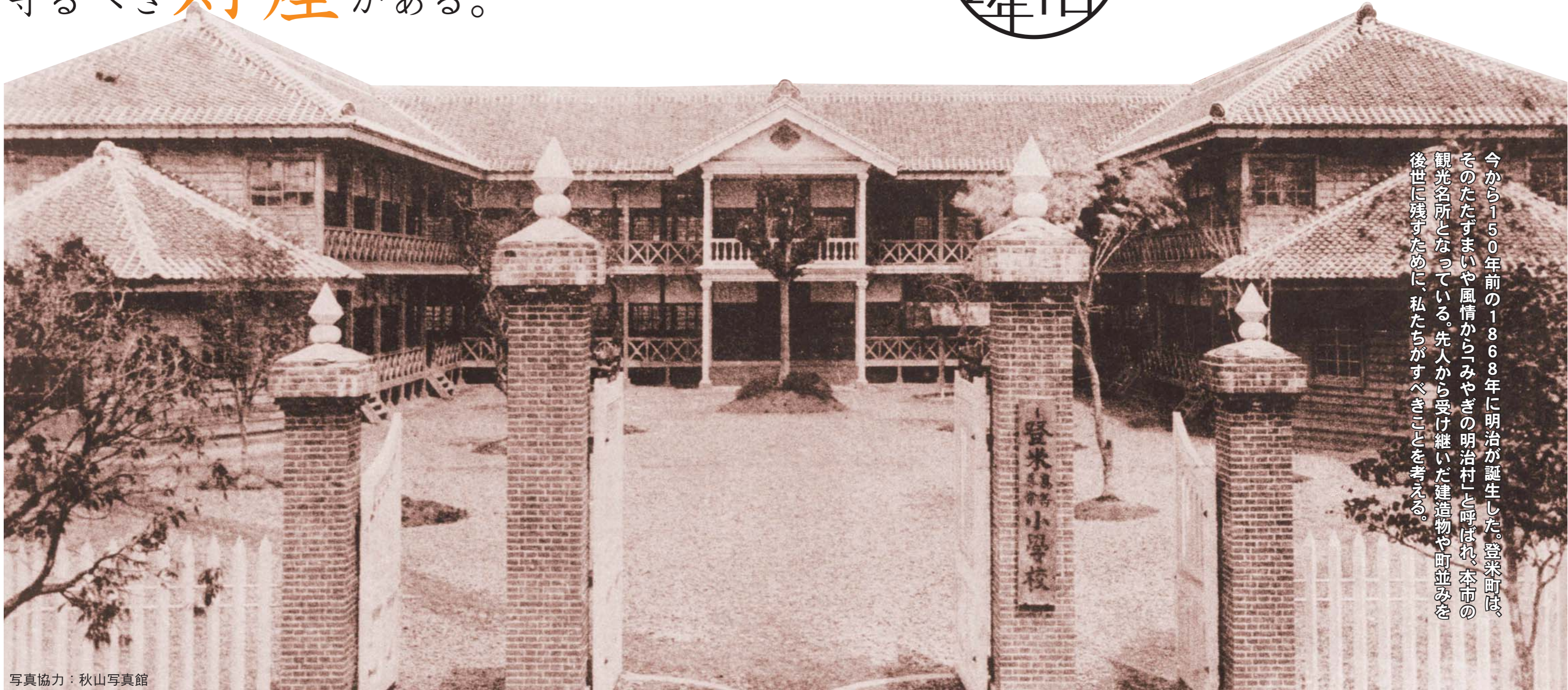


受け継いだ風景、 守るべき財産がある。



特集 — 明治150年 —

このまちを未来へ継承するために



写真協力：秋山写真館

今から150年前の1868年に明治が誕生した。登米町は、そのたたずまいや風情から「みやぎの明治村」と呼ばれ、本市の観光名所となっている。先人から受け継いだ建造物や町並みを後世に残すために、私たちがすべきことを考える。

激動の幕末から新時代へ

明治が誕生してから、今年で150年を迎えた。1867(慶応3)年12月の「王政復古の号令」により、天皇中心の新政府が成立した。翌68(慶応4)年1月3日、鳥羽・伏見の戦いをきっかけに、戊辰戦争へと発展。登米伊達氏や佐沼亘理氏をはじめ、当地方の領主たちも出兵し、福島、秋田方面で新政府軍と戦った。同年9月15日、仙台藩降伏を受け帰藩したが、元号は9月8日に慶応から明治に改められていた。新しい時代の幕が開いた。

日本は明治以降、西洋化が進み、近代化していく。大日本帝国憲法の制定、内閣制度や立憲政治・議院政治を導入。鉄道の開業や郵便制度施行など、技術革新や産業化が進む。また、義務教育の導入などにより、教育を充実させ、若者や女性が海外に留学。新たな知識を持ち帰ってきた。外国で学んだ知識を生かしつつ、単なる西洋の真似ではない、日本の良さや伝統と融合した建造物や文化が多数生み出された。多岐にわたる近代化への取り組みが、現在の国の基本的な形を築き上げた。

本市も例にもれず近代化が進んだ。かつては、13代約260年にわたり藩政が敷かれた登米。北上川の氾濫による荒地だったため、歴代の当主たちは、川筋を変えるなどの治水を実施。住民のために多くの時間と労力を費やし、人々の生活を支える基礎を築く。時代が明治に移り変わり、それまでは農業が主体だったが、治水が成功したことにより商業が発展。米などを運ぶ舟運事業などで、さらに繁栄した。川を伝って多くのモノ、情報や技術が伝えられ、旧登米高等尋常小学校をはじめとする「和」と「洋」が融合した建造物が数多く建てられた。

明治から大正、昭和、平成へと時代が変わり、人々の暮らしも変わるが、江戸から明治にかけて建てられた建造物は、今も変わらずに残っている。その町並みは、時代の波に飲まれることなく、人々の生活に寄り添い続けている。

私たちは、歴史的に価値の高い文化財や町並みを先人から受け継いだ。この財産を後世へ継承するために、地域住民、教育機関や市が連携して、さまざまな取り組みを続けてきた。未来に向かい、また新たな一歩を踏み出す。

財産を守る

明治村に溶け込む生活

登米市を代表する観光地「みやぎの明治村」。そう呼ばれる登米のまちには、江戸時代の武家屋敷、明治時代の建造物や重厚な蔵造りの商家が多く残り、歴史と伝統に包まれた町並みが、当時の面影を伝えている。明治の近代建築を象徴する教育資料館（旧登米高等尋常小学校）と警察資料館（旧登米警察署）は、1873（明治6）年にウィーン万国博覧会に派遣され、洋風建築の技術を取得した山添喜三郎氏が設計。バルコニーの柱頭に、ギリシャ建築のイオニア式などを取り入れた壮麗な建物である。

これらの建物は、観光施設として整備されたものではない。武家屋敷のほとんどは、現在も人が暮らす民家。歴史的な町並みの中に、今もなお人々の生活が自然に溶け込んでいる。私たちにとって当たり前前の町並みは、来訪者には、ハイカラなロマンあふれる明治時代を感じさせる空間なのだ。



1 明治時代に建築された商家。奥には蔵が残り、今でも使用されている 2 江戸時代に使用されていた武家屋敷「春欄亭」。休憩所として利用できる 3 昭和初期に建築された蔵造りのヤマカノ醸造



受け継いだ責任がある

文化財を確実に維持し、継承していくためには、適正に保存する必要がある。東日本大震災では、教育資料館の壁やガラスが破損するなど、甚大な被害を受け、大規模な修繕を施した。個人が所有する蔵なども同様に損壊したが、所有者らの努力により、元の町並みが復活している。登米町後小路に住む菅野芳郎さんが運営する私設博物館「町屋ミュージアム 廻船問屋 菅勘資料館」も東日本大震災により損壊した。

菅野さんが、父親の遺品を整理したところ、江戸期からの商売道具や生活用品などの所蔵品が多数見つかった。「貴重な歴史資料を、多くの人に見てもらいたい」と明治に建築された自身の生家と蔵を私財を投じて改修し、2009年に開館した。菅野さんの先祖である菅野勘兵衛氏は、江

戸から明治時代にかけて廻船問屋を経営していた。北上川を利用して米や生糸などを船で運び、東京や福井県まで取引を拡大した。資料館には、当時の漆器、滑車や資料などを展示している。

「建物が壊れたときは、続けるべきか悩んだ。しかし、先祖から受け継いだ文化財を守る責任があると思ひ修復した。これからもできる限り続けていきたい」と昔の登米を未来に伝えることを選んだ。



菅勘資料館オーナー 菅野 芳郎さん(83)



菅勘資料館：現在は常時開館していないため事前に連絡が必要（☎0220-52-2208）

「登米懐古館」

を新たに整備

市は、貴重な文化財を守るため、旧登米町の名誉町民、渡辺政人氏から寄贈された登米懐古館の老朽化に伴い、新たに（仮称）新登米懐古館の建設に着手した。設計は、登米町にある森舞台や新国立競技場を手掛けた隈研吾建築都市設計事務所が担当。登米産のスレートや市内産材を使用した建物が、歴史を継承する。

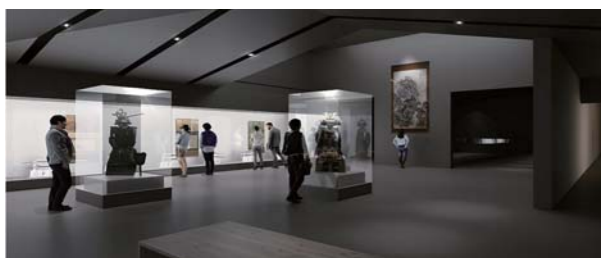
平成31年9月ごろ開館予定



外観：歴史と文化を保存し、観光と市民交流を活性化



土間ホール：庭の緑へと視線が抜ける開けた空間



展示室：展示品を際立たせる静かで落ち着いた空間

Interview



角田 雄一郎さん(30)

若い人や外国人にも魅力を感じたい

町並みをどう感じているか
ここで働く人に聞きました

7年間地元を離れ、5年前に家業の布団店を継ぐために帰郷。離れてから、このまちの魅力に気が付きました。それは、歴史的な風情があり、住んでいる人も歴史を大切にしているという。ほかの観光地にも劣らない魅力です。

帰ってきて、住民や観光客が減ったように感じました。そこで、外国人や若い人も魅力を感じてもらいたいと思い、脱出ゲームを企画。モニターツアーで外国人にも体験してもらったところ、すごく喜んでくれました。これからも若い人や外国人に来てもらえるような仕掛けを考えていきます。



山田 幹子さん(37)

ゆったりとした癒しの雰囲気の魅力

子どもの頃は、当たり前風景で魅力に気が付きませんでした。大人になり、明治村の魅力に伝えたいと思い「遠山之里」に就職しました。このまちには、歴史的な建物があり、ゆったりとした非日常的な癒しの雰囲気を味わえる魅力があります。

遠山之里では、観光客に楽しんでもらえるように、昨年よりも企画展を多く実施。若い人にも魅力を感じてもらえるよう、コスプレのイベントも開催します。多くの人に来ていただいて、楽しい思い出を作りたいので、丁寧な案内を心掛け「おもてなし」の心を大切にしています。

魅力あるまちを未来へつなぐ



とよま絆の会 代表

佐々木 康明さん(71)

このまちを後世に残すためには、地域が抱える少子高齢化などの課題と向き合いながら、地域全体が一体となり、まちづくりを進める組織が必要だと感じていました。登米には、歴史、文化や地域振興などの団体が多くありますが、これまでは、それぞれの立場で活動し、連携することが多くありませんでした。そこで、まちづくりの主体となり、まちの魅力を生かしながら活性化するために、各団体が連携した持続可能な組織として、平成28年に「とよま絆の会」を設立しました。地域の各団体から参加してもらい、現在48人で活動しています。

とよま絆の会では、共通認識として地域のアイデンティティ(独自性)の確立が必要と考え、地域課題と特性を知るために、勉強会などを実施しています。また、長く後世に残すためには、地域の活性化が不可欠。体験型イベントの開催な

どにより、観光客が増えることで活性化につながると思います。

登米の文化財や町並みは、すばらしい魅力を持っていますが、住んでいると当たり前で、そのことに気付いていない人が多いと感じています。まちづくりの原点であり主役となるのは、ほかの誰でもない、ここに住む人みんなです。どんなまちにしたいのかを自分たちで考え、誇りと愛着を持つことが重要です。待っていれば行政が何でもしてくれる時代ではありません。地域が主体となり、積極的に行動し、行政を巻き込みながら共に取り組むことが大切です。

この町並みを残し、継承していくための課題は多くありますが「できない理由を探すのではなく、できるための条件を探し、できることから始める」ことが、このまちを未来へつなぐ第一歩だと考えています。

未来への継承

市は、昨年6月に東北工業大学と「旧城下町・登米の歴史的建造物の調査と価値発信プロジェクトの連携・協力等に関する覚書」を締結。東北工業大学の学生が、登米の建造物を調査し、新たな魅力発見に取り組んでいる。また、地域住民も独自に団体を設立して活動。民学官が連携しながら、貴重な財産を次代へ継承する。

歴史を読み解き未来へ伝える



東北工業大学
工学部建築学科講師

中村 琢巳さん(40)

建物の歴史から学ぶ

東北工業大学の中村研究を学ぶ日本建築史を専門に研究している。講師の中村琢巳さんは「研究のテーマは、歴史的建造物を未来に伝える方法を考えること。歴史的建造物は、価値にふさわしい保存、活用や定期的な修復が不可欠。そのため、建物が歩んだ歴史を丹念に調べる必要がある。学術研究だけの狭い視点ではなく、地域の人と価値を共有し、保存や再生を一緒に考えていくことが大切になってくる」と地域との協働を重視する。

「江戸時代の武家屋敷や明治の洋風建築を象徴する旧登米高等尋常小学校、モダンを追及して建築された蔵、そのどれもが、当時の最先端技術で建てられている。そのため、江戸から

明治、大正、昭和への時代の移り変わりを色濃く映し出している」と登米の魅力語る。この町並みができた背景には、佐藤朝吉氏の活躍がある。佐藤氏は、大工の棟梁として旧登米高等尋常小学校などを建築。佐藤氏引退後は、モダンな建築技術を弟子たちが継承し、商店街の蔵などを多数建築した。



建物の歴史を調査する学生たち

利用するからこそ生きる醸造業を営む「海老喜」の旧店舗など、江戸末期から大正後期に建築された建物8棟が、5月10日に国の有形文化財に登録された。みそしょうゆ醸造業を営む海老喜は、1833(天保4)年に創業した。文化財登録のきっかけは、東北工業大学の調査。8代目の海老名康和さんは「建物は使わなければ朽ちていく。利用することで生き続ける。旧酒蔵を資料館に、旧醤油仕込蔵は貸しホールとして利用。表蔵は倉庫にしていたが、店舗やイベントなどで利用したい人に貸したい」と活用方法を常に模索している。「見るだけでなく、実際に利用できる文化財にしたい。建物は使われてこそ意味がある。建物を活用しながら、先代の生活、文化や思いを後世に伝えたい」と未来への継承を誓う。



海老喜 8代目
海老名 康和さん(53)



人と共に生きる町並み

市は、歴史的建造物が多く残る登米町寺池地区で、住宅などを新築、増築や改修する経費の一部を助成する「登米市街なみ景観整備事業」を実施。景観を地域と共に守り、未来へ残すためだ。

技術の進歩や社会構造の変化などにより、全国で同じような景観が増えているが、登米の町並みはここにしかない唯一無二のもの。記憶や記録が残るこの町並みは、登米市の宝物だ。宝物は、磨かなければさびれ、その存在を忘れてしまう。だからこそ大切にしていかなければならない。

まちの魅力や価値を知り、高めていけるのは、私たち登米市民だけ。私たちにできることは、地域の特性と魅力を知り、町並みを継承していく方法を話し合い、できることから行動に移すことではないだろうか。まちを愛し、守り、伝えたいという「人」と「心」を次の世代につなぐことこそが、本当の意味で「みやぎの明治村」を未来へ継承することになる。明治元年から150年、受け継いだ風景、守るべき財産をさらにその先へ。



表蔵：利用したい人に貸し出し

旧酒蔵：蔵の資料館として公開

旧店舗：スレートで葺いた屋根と2階のなまこ壁が特徴

2018・春 叙勲

不断の努力と永年の功績が認められ



旭日小綬章 (地方自治功勞)

1986年米山町議会議員に当選して以来、8期29年にわたる議員生活の間、米山町議会議長、登米市議会議長などを歴任。議会の円滑な運営とその活動の活性化に注力しました。豊富な経験と卓越した指導力を発揮し、地方自治の発展と住民福祉の向上に尽力しました。

庄子喜一さん (米山町後小路・71歳)



旭日小綬章 (地方自治功勞)

1983年宮城県議会議員に当選して以来、6期23年余にわたり県勢発展に貢献。99年から2年間、宮城県議会議長として、議会の円滑な運営とその活動の活性化に注力しました。豊富な経験と卓越した指導力を発揮し、地方自治の発展と県民生活の向上に尽力しました。

千葉正美さん (迫町錦東・70歳)



瑞宝双光章 (消防功勞)

1972年登米地区消防事務組合に入庁。2007年登米市消防署北出張所長、09同消防本部予防課長、10年同消防次長、11年同消防長に就任し、市消防の予防体制確立に貢献しました。14年に退職するまでの42年間、住民の生命、地域財産の保護、地域防災力の向上に尽力しました。

菅原輝雄さん (迫町坂戸・65歳)



瑞宝単光章 (消防功勞)

1972年石越町消防団に入団。98年同班長、2005年登米市石越町消防団副分団長、07年登米市消防団分団長、09年同副団長に就任し、防火思想の普及、地域防災の確立に貢献しました。17年に退職するまでの45年間、住民の生命、地域財産の保護、地域防災力の向上に尽力しました。

工藤貞夫さん (石越町赤谷・70歳)



瑞宝単光章 (消防功勞)

1965年南方町消防団に入団。93年同分団長、2000年同副団長、05年登米市南方町消防団副団長、07年登米市消防団副団長に就任し、防火思想の普及、地域防災の確立に貢献しました。11年に退職するまでの46年間、住民の生命、地域財産の保護、地域防災力の向上に尽力しました。

永浦勝男さん (南方町沢田・70歳)



瑞宝単光章 (防衛功勞)

1970年陸上自衛隊に入隊し、第20普通科連隊に勤務。71年第6師団司令部付隊、76年東北方面音楽隊に配属され、2008年からは同音楽班先任陸曹として、訓練の円滑な推進と若手隊員の指導に注力しました。10年に退職するまでの40年間、国民の安全のために尽力しました。

芳賀克郎さん (中田町神畑・67歳)

人事往来

平成30年定例会 4月特別議会は4月18日に開かれ、教育長および教育委員会委員の任命について可決されました。



佐藤信男教育長が退任

佐藤信男教育長が5月20日に退任しました。佐藤氏は、米川小学校教頭、佐沼小学校長、県小学校長会長などを歴任後、平成27年5月21日から3年にわたり本市の教育長を務め、教育振興に尽力されました。



高橋富男氏が教育長に就任

高橋富男氏(65)＝中田町南町＝が教育長に就任しました。高橋氏は、中田中学校教頭、同校校長などを歴任し、前職は、仙台育英学園入試広報部支援委員兼登米学習センター所長を務めていました。任期は、平成33年5月20日までの3年間です。



教育委員会委員 委員(新任) 佐竹美香さん

任期は平成34年5月20日まで

みやぎ園芸振興大賞を受賞

JAみやぎ登米胡瓜部会



「第1回みやぎ園芸振興大賞表彰式」は4月24日、仙台国際センターで開かれ、JAみやぎ登米胡瓜部会(久保泰宏部会長、部会員122人)が大賞を受賞しました。県は、2016年に32.7億円だった園芸産出額を、20年に42.2億円にすることを目標に、取り組みを強化。園芸振興への意欲向上、競争力と魅力ある大規模園芸産地の育成を促進するため、モデル的な取り組みをした団体などを表彰する「みやぎ園芸振興大賞」を本年創設しました。本市は、栽培面積75ヘクタール、生産量約3千トン、販売額約7億7千万円で県内一のキヌウリ産地。国の指定産地にもなっています。JAみやぎ登米胡瓜部会は、生産体制の強化と販売力の向上のため、市内の4組織を統合し、本年1月に設立。本市出身の漫画家、石ノ森章太郎氏の代表作「サイボーグ009」をキャラクターに起用し、3年前から「ゼロロキゅうり」として全国的に売り出しています。審査では、組織体制を強化したこと、安全で安心なキヌウリのブランド化に貢献したことなどが高く評価されました。表彰式では、村井嘉浩知事から久保部会長に表彰状と記念の盾が手渡されました。

大切な自然を次代へ

津山で森林づくり植樹祭

「市民参加の新たな森林づくり春・植樹祭」(市・県主催)は5月20日、津山町柳津字大土地内で開かれ、約60人が参加し、植樹作業に汗を流しました。

植樹祭は、地球環境を守るために大切な森林を次代に残すため、毎年春と秋に開催。県の「みやぎ環境税」を活用して実施しています。参加者は、0.45%の市有林敷地に、約900本の品種改良された低花粉スギの苗木を植樹。参加した橋本一男さん夫妻＝津山町元町第二＝は「孫の成長を願い、記念に植樹しました。孫も苗木もすくすく成長してほしいですね」と笑顔で話していました。



参加者は唐くわを使って穴を掘り、苗木を植樹。緑豊かな森林に育つよう願いました。

風情とお茶を味わう

第30回とよま茶会開催

「とよま茶会」(同実行委員会主催)は4月29日、教育資料館(旧登米高等尋常小学校)、遠山之里、みやぎ北上商工会登米支所の3会場で開かれ、市内外から800人以上の来場者が訪れました。

とよま茶会は今回で30回目。来場者は、登米の風情や歴史を感じながら、入れたてのお茶と和菓子を味わいました。仙台市から訪れた高橋七海さんは「参加者がとても多くてびっくりしました。以前から教育資料館に来たいと思っていたので、より雰囲気を感じられる茶会に参加できてよかったです」と顔をほころばせていました。



教育資料館内に設けられた茶席。お茶と色鮮やかな和菓子が、風情あふれる雰囲気を、より一層引き立てていました。

女子目線で意見交換

まちづくりテーマに実施

「OH・TO・ME-101人女子会」は5月26日、南方農村環境改善センターで開かれ、市内に在住、在勤する女性97人が参加しました。

女子会は、女性の声を反映させて誰もが生き生きと暮らせるまちをつくるため、今後設置する「登米市女性会議」のキックオフイベント。参加した伊藤梓さん(36)＝中田町川面＝は「どうすればよりよいまちになるか、いろんな世代の人と語り合い、皆さんの意見や悩みなどを共有することができました。みんなが気軽に集まることができる場所があるといいですね」と感想を話していました。



全員で話し合ったような効果が得られるワールド・カフェ形式で実施。メンバーの組み合わせを変えながら話し合いました。

きれいな心で花植え

5小学校で人権の花運動

「人権の花運動」(登米人権擁護委員協議会主催)は5月7から11日まで、加賀野、佐沼、南方、米岡、登米の5小学校で実施されました。

人権の花運動は、市内小学生が花をいっしょに育てることを通して「思いやりの心」と「命の大切さ」を学ぶことが目的。佐沼小学校では、5年生108人が登米総合産業高校の生徒の協力を得ながら、3人一組でサルビアやマリーゴールドなどの苗を植えました。高橋正則校長は「花は人の心をきれいにしてくれます。花植えの作業で手は汚れるかもしれませんが、きれいな心を持って頑張りましょう」と話していました。



産業高生を講師にマリーゴールドなどを植える児童たち。花植えを通じて「思いやりの心」と「命の大切さ」を学びました。

生き生きと健康生活

健康フェスティバル開催

「2018生き生き健康フェスティバル」は5月26日、登米祝祭劇場で開かれ、参加者は生涯健康で生活するための知識を学びました。

会場には、健康チェックやがん予防など、健康寿命を延伸するためのさまざまな展示・体験コーナーを設置。食生活改善コーナーでは、減塩のみそ汁が提供され、来場者は、家庭で作る味と比較していました。大ホールでは、お笑いコンビTIMのゴルゴ松本氏が「ゴルゴ塾命の授業」をテーマに、漢字の持つ意味や由来について講演。ユーモアを交えながら話す、魂のこもった熱演に、会場は終始笑い声があふれていました。



食生活改善コーナーや受動喫煙ゼロコーナーなどのブースに、たくさんの方が訪れ、普段の生活を見つめ直していました。

楽しさと苦労を体験

逢隈中がファームステイ

亘理町立逢隈中学校の2年生97人は5月15、16の両日、東和町をはじめとする市内26世帯に宿泊し、農村生活を体験しました。

農家の藤原賢一さん(71)＝東和町米川10区＝宅には、佐藤陽潤さん、高橋来雅さんと佐藤七瀬さんの3人が宿泊。自宅に到着後すぐに田植え作業をしました。藤原さんは「体験に来た生徒たちとは親戚のように接している。農業に親しみを持ってもらいたい」と話し、陽潤さんは「田んぼに入るのは初めて。すごく歩きにくくて大変でしたが、なんとか植えることができました」と汗を輝かせながら田植えを体験していました。



田植え機で植えた後に、苗を植え直す生徒たち。バランスを崩しながらも、苗を一つ一つ丁寧に植えていました。

Information

02

市職員募集

このまちのためにできることがある

行政職員・土木職員・消防職員

■試験区分、職種、採用予定人員など

試験区分	職種	従事内容	採用予定人員	受験資格
初級 (高等学校卒業程度)	行政	一般事務に従事	10人程度	平成4年4月2日以降生まれの人
	行政 (障がい者)	一般事務に従事	1人程度	以下の条件を全て満たす人 ①平成4年4月2日以降生まれで、自力で通勤し、介護者なしで一般事務職の職務を遂行できること ②身体障害者福祉法第15条に定める身体障害者手帳が交付されていること ③常用の活字印刷文による出題に対応し、口頭での人物試験(個別面接)に対応できること
	土木	専門業務に従事	3人程度	平成4年4月2日以降生まれの人
	消防	消防業務に従事	3人程度	

※採用予定人員は、変更することがあります。採用は、平成31年4月1日の予定です。

■試験日程 【試験日】1次試験:9月16日(日)、2次試験:10月下旬または11月上旬予定

【会場】1次試験:佐沼中学校、2次試験:1次試験合格者に通知

■受付期間 7月6日(金)~8月6日(月)午前8時30分~午後5時15分[平日]

※郵送の場合は、受付期間中の消印のものに限ります。

■受験申込 7月2日(月)から、申込書と試験実施要綱を総務部人事課、または各総合支所窓口で配布します(午前8時30分~午後5時15分[平日])。郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用統一試験申込書請求」と朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)および連絡先(電話番号)を明記した任意の用紙を必ず同封してください。詳しくは、市ホームページをご確認ください。

【申し込み・問い合わせ】
総務部人事課
(人事研修係)
〒987-0511 登米市迫町
佐沼字中江2-6-1
☎0220(22)2145

医療局職員

■職種、採用予定人員など

職種	採用予定人員	受験資格
看護師	20人程度	【免許保有者】昭和44年4月2日以降生まれの人 【免許取得見込者】昭和54年4月2日以降に生まれ、平成31年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人(※長期勤続によるキャリア形成の観点から応募資格に年齢制限を設けています)
臨床検査技師	1人程度	臨床検査技師の免許を持つ人、または平成31年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人
作業療法士	1人程度	作業療法士の免許を持つ人、または平成31年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人

※採用予定人員は、変更することがあります。採用は、平成31年4月1日(資格・免許取得見込みの人は5月1日)の予定です。

■試験日程 【試験日】8月12日(日)

【会場】登米市民病院・地域医療連携センター(多目的ホール)

■受付期間 7月3日(火)~8月2日(木)午前8時30分~午後5時15分[平日]

※郵送の場合は、受付期間中の消印のものに限ります。

■受験申込 7月3日(火)から、申込書を医療局経営管理部総務課で配布します(午前8時30分~午後5時15分[平日])。郵便で請求する場合は、封筒の表に「(職種名)採用試験申込書請求」と朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください。詳しくは、市ホームページをご確認ください。

【申し込み・問い合わせ】
医療局経営管理部
総務課(人事係)
〒987-0511 登米市迫町
佐沼字下田中25
(登米市民病院内)
☎0220(44)4795

Information

01

ひだまりタウン よねやま 宅地分譲開始



全24区画 土地面積
280.94㎡~423.59㎡
分譲価格
168万円台~254万円台

登米市の移住・定住の促進と地域活性化のため、米山町中津山に整備した「ひだまりタウンよねやま」の宅地分譲を開始します。

【所在地】登米市米山町中津山字筒場(中田庁舎2階)

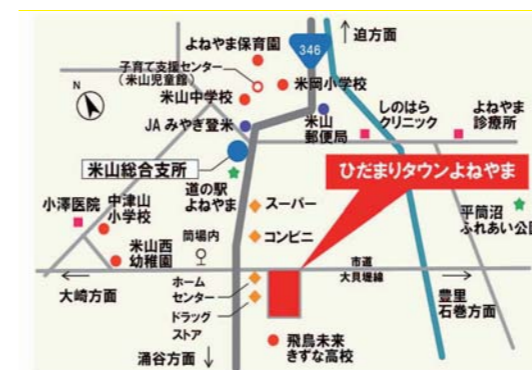
【区画数】全24区画
【分譲予定数】▼転入世帯14区画▼市内在住世帯10区画

■購入できる人
①転入世帯 本人および同居しようとする人のいずれかが、土地取得の契約日までに3年以上本市以外に住所があり、契約日以後に定住の意志を持って本市に転入する人
②市内在住世帯 ①の転入世帯以外で、本人、配偶者のどちらかが40歳(中学生以下の子どものがいれば45歳)以下の人
※単身世帯は購入できません。

■購入条件
▼契約日から3年以内に自らが居住する住宅を完成させること ▼10年間は転売・転貸しないこと ▼土地の形状を変更しないこと

■募集
【受付期間】7月2日(月)~8月31日(金)(土日、祝日を除く午前8時30分~午後5時15分)

【申込方法】建設部住宅都市整備課、各総合支所市民課、移住定住サポートセンターに備え付けの申込書(市ホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入の上、持参または郵送してください。



※郵送の場合は、8月31日(金)までの消印のものに限ります。

【受付場所】建設部住宅都市整備課(中田庁舎2階)

■現地説明会
【第1回】7月25日(水)
【第2回】8月5日(日)
※時間は午前9時~午後4時。

■抽選会
【日時】9月9日(日)午前10時~正午

■補助金について
移住・定住のために利用できるさまざまな補助金があります。詳しくは市ホームページをご覧ください。

【申し込み・問い合わせ】建設部住宅都市整備課(都市整備係)
〒987-10602 登米市中田町上沼字西桜場18
☎0220(34)2316
☎0220(34)3448

Information 03

市奨学金貸付予約奨学生を募集

市は、平成31年4月以降に進学・進級する希望者に、奨学金を貸し付けます。

市育英資金・浅野兄妹奨学金貸付について

【校種】国内の高等学校、高等専門学校、専修学校(高等課程)および専門課程に限る、短期大学、大学(大学院を除く)

区分	貸付月額	
	自宅通学	自宅通学以外
高等学校	1万円以内	3万円以内
高等専門学校	4万円以内	5万円以内
専修学校	4万円以内	5万円以内
短期大学	4万円以内	5万円以内
大学	4万円以内	5万円以内

上杉奨学金貸付について

【校種】大学
【貸付月額】50万円以内
【貸付期間】▼医学部、獣医学部など▼6年以内▼それ以外▼4年以内
【応募資格】市内に在住し、学資支払いが困難な人

奨学金共通事項について

【募集人数】予算の範囲内
【募集期間】7月2日(月)～9月5日(水)(土日、祝日を除く)午前8時30分～午後5時15分受け付け
【奨学金の貸し付け】▼市育英資金および浅野兄妹奨学金、上杉奨学金の重複応募はできません▼市育英資金および浅野兄妹奨学金は、日本学生支援機構など、他の機関が運営する奨学金を借りている、または借りることが決定している(見込みを含む)場合は貸し付けできません
【採用方法】奨学生選考委員会で審査し、教育委員会で決定(平成30年10月開催予定)
【応募書類】①奨学生願書(様式第1号)②学校長推薦書(様式第2号)③健康診断書(任意様式)学校発行のものでも可④住民票謄本(世帯全員のもの)⑤平成29年度納税証明書(世帯全員分および連帯保証人分)⑥平成29年中の世帯全員の収入が分かる書類⑦所得控除の記載がある所得証明書(確定申告書または住民税申告書の写し、事業収入などがある場合は収支内訳書の写し、給与収入だけの場合は源泉徴収票の写しでも可)
※①と②は市ホームページからダウンロードできます。
【申し込み・問い合わせ】教育委員会教育部教育総務課(総務係)
☎0220(34)2670

Information 04

職員が地域に出向きます 出張市役所のご利用を

市民の皆さんが主催する集会や会合などに市職員が出向き、市の政策や事業について説明します。職員派遣の費用はかかりません。

【会場】市内限定とし、申込団体が会場を準備ください。費用が発生する場合は、申込者負担となります。市の施設を使用する場合は無料です

【申込方法】総務部市長公室(迫庁舎2階)に備え付けの申込書(市ホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入の上、開催希望日の2週間前までに申し込みください

【申し込み・問い合わせ】総務部市長公室(広報広聴係)
☎0220(22)2090

分類	メニュー名	メニューの概要(説明、解説したいポイントなど)	担当課
健康・福祉	健康なまちづくり	元気とめ食育21計画について～笑顔で健康に生きる～	健康推進課
	よく分かる介護保険と高齢者の福祉サービス	介護保険制度全般(介護保険料と利用料、介護サービスの利用方法、地域包括支援センターの役割)・高齢者福祉サービスについて	長寿介護課
生活・環境	循環型社会の構築に向けた市の取り組み	ゴミの減量化・資源リサイクル	環境課
	水道の災害対策	災害時に対する水道の危機管理や、水道水の保管方法、安全対策について	水道管理課
市政・まちづくり	税などの賦課	市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の賦課の仕組みについて	税務課
	数字でみる登米市	統計で見る市の状況など	企画政策課
産業	市民と協働のまちづくり	市民と行政による協働のまちづくりについて	市民協働課
	登米市の産業	市内の農業、林業、商業、工業について	産業振興課
	農地の売買・贈与・賃借などの手続き	農地の売買・交換・贈与・賃借にかかる農地法などの手続きについて	農業委員会

※上記以外のメニューもありますので、詳しくは市ホームページをご覧ください。※開催決定は、担当課と調整後に申込団体に通知します。

Information 05

「モノノケたちの夏」地域の化物ガタリ」企画展

登米地方の「モノノケ」文化と地域の化物を紹介する企画展を開催します。

【開催期間】6月30日(土)～8月26日(日)毎週月曜日休館(月曜日が祝日の場合は、翌平日)

【場所】市歴史博物館(企画展示室)
【入館料】無料
【関連企画】
①講座「登米地方のザシキワラシ」佐々木喜善と高橋清治郎、中道等、ニコライ・ネフス

キーの交流から」座敷わらしや大正期の民俗学者をキーワードに学芸員が講演

【日時】7月29日(日)午後1時30分～3時
【参加費】無料
【定員】20人
【申し込み】電話
②展示解説Ⅱ企画展の見どころと展示資料を学芸員が解説
【日時】7月22日(日)／8月12日(日)午前11時～11時30分
【参加費】無料
【申し込み】不要



鎮守神の鬼退治 (三吉神社所蔵)

【問い合わせ】市歴史博物館
☎0220(21)5411

Information 07

ホテルモントレ仙台で 登米産直フェアを開催

ホテルモントレ仙台内のフランス料理店「エスカール」で、登米産の旬の野菜や牛肉を使用した料理を昼食と夕食に提供する「登米産直フェア」を開催します。魅力あふれる料理が楽しめますので、ぜひご来場ください。

期間中は、登米産米真空パックを来場者へプレゼント。数量限定です。

【開催期間】7月1日(日)～31日(火)
▼昼食Ⅱ午前11時30分～午後2時30分
▼夕食Ⅱ午後5時～9時30分
※毎週水曜日定休。

【開催場所】ホテルモントレ仙台(仙台市青葉区中央4-1-8)フランス料理「エスカール」
【問い合わせ】
▼ホテルモントレ仙台・フランス料理「エスカール」
☎022(265)5502
▼産業経済部産業連携推進課(ブランド戦略係)
☎0220(34)2549

Information 06

母なる北上川の源流を見学

【日時】7月27日(金)午前7時30分出発／午後6時解散予定

【見学場所】▼弓張の泉(岩手県岩手郡岩手町)▼旧松尾鉱山新中和処理施設(岩手県八幡平市)

※施設の稼働状況により、見学場所が変更になる場合があります。

【対象者】小学生以上(小学生は保護者同伴)
【定員】40人(参加者多数の場合合は抽選)

【参加費】2千円(小学生千円)

※参加費には、昼食代を含みます。当日にご持参ください。

【応募方法】はがきに①郵便番号②住所③参加者全員の氏名(はがき1枚につき5人まで)④年齢⑤電話番号⑥「北上川源流見学会参加希望」と記入の上、ご応募ください
【応募締切】7月11日(水)必着
【応募先】〒987-10702



水道水のもとになる北上川源流を見学

登米市登米町寺池目子待井381-1「登米市水道事業所水道管理課」にて
【問い合わせ】水道事業所水道管理課(経営管理係)
☎0220(52)3313

Information 08

市就職ガイダンスを開催

【日時】7月27日(金)午後2時～4時

【場所】登米総合体育館
【参加対象者】▼地元高校生▼平成31年3月に卒業予定の学生・既卒者(大学・短大・高专等)▼一般求職者▼UIJターン就職希望者

【入場料】無料
【問い合わせ】産業経済部工業振興課(工業振興係)
☎0220(34)2706



市内企業が概要説明・個別面談を実施します

高齢者福祉事業の概要をお知らせします

市は、在宅の高齢者に対し、さまざまな福祉事業を実施しています。

■**外出支援サービス事業**
公共交通機関の利用が困難な人に、福祉車両で外出を支援します。

■**利用対象者** 介助が必要な人で、単独でタクシーや公共交通機関を利用することが困難な人

■**料金** ▼1キロ当たり100円
▼片道30キロ以上の場合超過10キロにつき150円
※福祉車両のみの貸し出しは無料(燃料は自己負担)。

■**利用範囲** 病院への通院・入退院、社会福祉施設への通所・入退所など

■**軽度生活援助事業**
食事・食材の確保、家庭内の整理・整頓や家の周りの手入れなど、軽易な日常生活を援助します。

■**対象者** おおむね65歳以上で1人暮らしの人、高齢者だけの世帯などで、日常生活上の援助が必要な人(要支援、要介護認定者は、介護保険サービスを優先します)

■**料金** ▼生活・家事援助 1時間当たり223円 ▼その他生活援助 1時間当たり100円

■**配食サービス事業**
調理が困難な高齢者などに、栄養バランスの取れた食事を提供します。

■**対象者** おおむね65歳以上で1人暮らしの人、高齢者だけの世帯で調理が困難な人、心身の障害や疾病などの理由で調理が困難な人

■**料金** 1食当たり350円(週3回を上限)

■**老人日常生活用具給付等事業**
1人暮らしの高齢者などに日常生活用具を給付します。ただし、所得に応じ利用者負担があります。

■**給付する生活用具** 電磁調理器、火災警報器、自動消火器

■**ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業**
緊急通報装置を無料で貸し出し、急病などの緊急事態に迅速に対応します。

■**対象者** おおむね65歳以上で1人暮らしの人、高齢者だけの世帯、1人暮らしの身体障

害者
■**家族介護用品支給事業**
紙おむつや介護用品の購入補助として、介護用品支給券を交付します。

■**対象者** 常時紙おむつなどの介護用品を必要とする人を抱える家族

■**支給額** ①非課税世帯(要介護4、5) ②月額5千円 ③非課税世帯(①以外) ④月額3千円

③課税世帯 ⑤月額2千円
■**介護家族支援レスパイト事業**
緊急の事由により家族が介護できなくなった場合や、1人暮らしの高齢者が自宅で生活困難となった場合など、一時的に宿泊を含む介護サービスを提供します(5日以内)。

■**料金** 1日675円。食費、クリーニングなどは実費負担

■**生活支援ハウス事業**
高齢などのため居宅で生活する事が不安な人に対し、一定期間住居を提供します(利用定員10人)。

■**対象者** 60歳以上で1人暮らしまたは夫婦だけの世帯、家族の援助を受けるのが困難な人

■**料金** 利用者の収入により金額が異なります。食費、部屋の電気料などは実費負担

■**問い合わせ** 福祉事務所長寿介護課(長寿社会係)
☎0220(58)5551

行政への意見・要望を受け付けます

行政相談委員は、国や県、市などへの意見、要望、苦情を受け付け、その解決のお手伝いをします。相談は無料で秘密は守りますので、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ】総務部総務課(総務係)
☎0220(22)2091

■定例相談所

担当地区	開設場所	問い合わせ
迫	迫老人福祉センター	迫総合支所市民課地域振興係 ☎0220(22)2213
登米	登米老人福祉センター	登米総合支所市民課地域振興係 ☎0220(52)2111
東和	東和総合支所相談室	東和総合支所市民課地域振興係 ☎0220(53)4111
中田	中田老人福祉センター	中田総合支所市民課地域振興係 ☎0220(34)2312
豊里	豊里高齢者趣味の交流館	豊里総合支所市民課地域振興係 ☎0225(76)4111
米山	米山総合保健福祉センター相談室	米山総合支所市民課地域振興係 ☎0220(55)2111
石越	石越総合支所ボランティア室	石越総合支所市民課地域振興係 ☎0228(34)2111
南方	南方公民館会議室	南方総合支所市民課地域振興係 ☎0220(58)2112
津山	津山老人福祉センター会議室	津山総合支所市民課地域振興係 ☎0225(68)3111

※開設日時は、各総合支所市民課へ問い合わせください。

健康

1回だけの参加も大歓迎です。運動不足が気になる、気軽に運動を始めたいなど、健康づくりに取り組みたい人



転倒防止に役立つ運動

イオンタウン佐沼を会場に、ウォーキング教室を実施します。室内ですので、天候や気温に関係なく、快適で安全にウォーキングが楽しめます。専門講師が効果的な歩き方や自宅でもできる運動のレッスン、元気を支える食を紹介するなど、健康に役立つ情報が盛りだくさんです。

タウンウォーキング参加者募集

は、ぜひご参加ください。

【開催日】▼7月19日(木)▼9月13日(木)▼10月25日(木)▼11月15日(木)▼12月13日(木)▼1月24日(木)▼2月14日(木)▼3月13日(水)

【時間】各回とも午前10時〜11時(午前9時45分から受け付け)

【集合場所】イオンタウン佐沼(セントラルコート)

【講師】東北文化学園大学/佐藤敬広氏

【持ち物】タオル2枚(汗拭き・レッスン用)、飲み物



タオルを使った運動

【申込方法】電話または電子メールで氏名、性別、年齢、電話番号をご連絡ください
【申し込み・問い合わせ】☎0220(52)2175

7月の献血日程

①7日(土)
▶イオンタウン佐沼
10:00〜11:45
13:00〜16:30

②15日(日)
▶イオンタウン佐沼
10:00〜11:45
13:00〜16:30



※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市ホームページをご覧ください。下記にお問い合わせください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課(健康推進係)
☎0220(58)2116

自殺予防
仙台いのちの電話
ひとりじゃないよ
話を聴かせて
☎022(718)4343

いろいろなことに、悩み、苦しんでいる人の「こころの声」を聴きます。

子ども夜間安心コール

●電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)

●相談時間
毎日午後7時〜翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
☎0229(24)2267

7月のこころの相談	
日	場所・受付時間・担当・予約先
2月	中田保健福祉会館 13:30〜15:30 医師 ☎0220(34)2311 (中田総合支所)
11日	豊里公民館 13:30〜15:30 カウンセラー ☎0225(76)4113 (豊里総合支所)
24日	米山総合支所 10:00〜14:00 カウンセラー ☎0220(55)2112 (米山総合支所)

精神科医師などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日前日(土日、祝日を除く)まで、各予約先まで申し込みください。

登米市民病院小児科 日曜日救急診療	
●診療時間	9:00〜17:00(受付16:30まで)
【問い合わせ】	登米市民病院 ☎0220(22)5511

7月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
1日	豊里病院(豊里町) ☎0225(76)2023	豊里病院歯科(豊里町) ☎0225(76)2023
8日	新田診療所(迫町) ☎0220(28)3398	ごとう歯科医院(迫町) ☎0220(22)7111
15日	千葉医院(迫町) ☎0220(22)3725	なかつやま歯科医院(米山町) ☎0220(55)2755
16日(祝)	おおともクリニック(津山町) ☎0225(68)3210	かがの歯科医院(中田町) ☎0220(35)2552
22日	佐幸医院(迫町) ☎0220(22)7003	佐藤歯科医院(豊里町) ☎0225(76)0220
29日	しのはらクリニック(米山町) ☎0220(23)7387	さとう歯科医院(迫町) ☎0220(22)8133

●診療時間 9:00〜17:00
【休日急患当番医】
●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267(24時間)
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084
※月〜金曜日(休日を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。



(東和地区)
齋藤 勉さん
☎0220(42)3682



(登米地区)
金田 義晴さん
☎0220(52)4240



(迫地区)
齋藤 輝雄さん
☎0220(22)5455



(米山地区)
柳渕 亨さん
☎0220(55)1301



(豊里地区)
佐々木 豊さん
☎0225(76)1527



(中田地区)
千葉 裕子さん
☎0220(34)3104



(津山地区)
山形 利文さん
☎0225(68)2673



(南方地区)
佐々木 菊枝さん
☎0220(58)4382



(石越地区)
松浦 耕治さん
☎0228(34)2653

豊里



力強く全力でのプレーを誓う

「市スポーツ少年団豊里支部団結式」は5月14日、豊里公民館で開かれ、7団体、総勢140人の団員がユニフォーム姿で参加しました。

各団体を代表して、豊里中学校バレーボールスポーツ少年団の寺澤縁芳さんが、力強く宣誓。各団体から活動内容や目標が紹介され、保護者などに対する感謝の言葉が述べられました。会場には、指導者や多くの保護者が来場し、子どもたちの堂々とした姿に拍手を送っていました。

泥まみれで楽しく田植え体験

「米づくりをしよう～田植え～」は5月15日、米山町内の水田で実施され、米岡小学校（滝野澤清史校長、児童127人）の5年生22人が田植えを体験しました。

30年以上続くこの活動は、伝統的な体験学習の一つ。先生や保護者が見守る中、子どもたちははだして田んぼに入り、泥だらけになりながらも手作業での田植えを楽しみました。秋には稲刈りも予定しており、自分たちが植えた稲の収穫を今から心待ちにしています。



米山

石越



交通死亡事故ゼロ1000日達成

「交通死亡事故ゼロ1000日達成表彰式」は5月23日、石越公民館で開かれ、登米市交通安全対策協議会と佐沼警察署から石越コミュニティ運営協議会（佐々木敬次会長）へ表彰状が贈られました。

同地区は2015年8月から交通死亡事故ゼロを続けており、2018年5月20日に1000日を達成。佐々木会長は「地域の皆さんや関係団体の協力により、記録を達成できた。これからも記録を伸ばしたい」と抱負を述べました。

ちびっこ消防隊員頑張ります

「幼年消防クラブ任命式」は5月24日、東郷幼稚園（千葉敦子園長、園児25人）で開かれ、12人の新入園児が新たに幼年消防クラブの一員に任命されました。

同日は、消防署員の説明を聞きながら、消防車などの見学や女性消防団員による防災教室を体験。ちびっこ消防隊員になった子どもたちは「僕たち、私たちは、マッチやライターで火遊びしません」と元気に声を合わせ、防災の誓いを宣言しました。



南方

津山



生き生き元気な体で介護予防

「つやま和話輪研修会」は5月17日、津山ふれあいセンターで開かれ、約40人の参加者が受講しました。

同研修会は、介護予防の輪を広げるために、年6回コースで開催。1回目となった今回の活動は「自分の体力を知ろう」をテーマに、講師の東北文化学園大学佐藤敬広准教授がロコモ予防の講話や体力測定、いきいき体操などを指導しました。講師のユーモアあふれる指導に、参加者らは終始笑いが絶えず研修を楽しみました。

東和



1本1本の矢に思いを込めて

「第19回夏季みやぎ弓の里A1カップアーチェリー大会」は5月5日、東和総合運動公園で開かれ、過去最高の178人の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。

同会場では、運動公園内に競技会場を2カ所設置。2001年の「みやぎ国体」以来の大規模な大会となりました。また、選手や関係者には、地元有志から無料ではっと汁が振る舞われ、「おいしい」「また来たい」などの声上がり、試合以外の「おもてなし」も喜ばれていました。

緑豊かな草花に季節を感じて

「平成30年春の山野草展」(上沼園芸愛好会・上沼コミュニティ運営協議会主催、只野正喜会長)は5月12、13の両日、上沼ふれあいセンターで開かれ、181人の来場者が春の草花を楽しみました。

上沼園芸愛好会は、活動を始めてから今年で15年目。今回は約160点の作品が会場に並びました。只野会長は「仲間と一つの目的が持てるこの活動が私の生きがい。今後も共に活動を続けていきたい」と話していました。



中田

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

迫



フィリピンの子どもに笑顔を

「フィリピンのこどもたちに靴を送ろう」プロジェクト(千葉得郎会長)の出発式は4月26日、北方小学校の敷内で開かれました。

今年で2回目を迎えたこのプロジェクトは、北方地区や北方小学校PTAなどの協力により集めた靴を、フィリピンで生活に困窮する子どもたちに送る取り組み。千葉会長は「子どもたちの笑顔のために、少しでも役立ててもらえれば」と願いを込め、箱に詰めた靴を見送りました。

未来のために今できることを

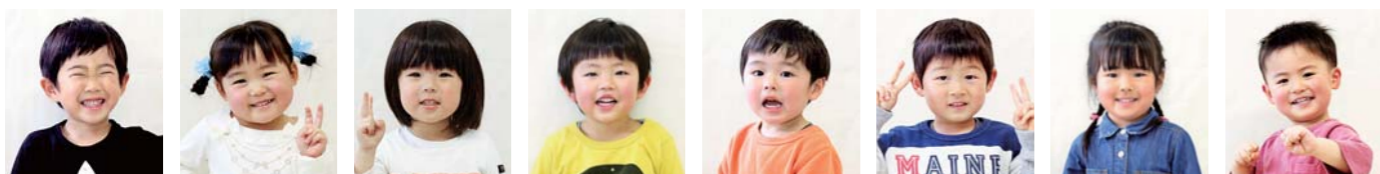
「第19回水道週間記念植樹」は5月25日、登米町上羽沢地内の市有林で実施され、登米中学校(小野寺彰哉校長、生徒108人)の1年生38人がオオヤマザクラなどの苗木100本を植樹しました。

この植樹は、北上川の環境保全と水道の大切さを次世代に引き継いでいくことを目的に、2000年から実施。参加した生徒たちは、自然の大切さを学び「苗が育つのが楽しみ」と苗木の成長を願いました。



登米

5月18日までの3歳児健診でむし歯のなかった子どもたち



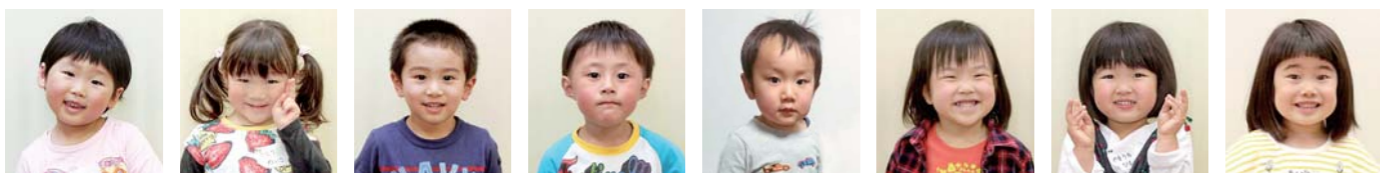
相澤 巨くん (迫町萩洗) 安部乃々佳ちゃん (迫町錦東) 石川みのりちゃん (迫町八幡) 及川 凜空くん (迫町下舟丁) 小野寺 蒼くん (迫町西館) 熊谷 拓真くん (迫町中江) 齋藤 有李ちゃん (迫町横丁) 千葉 太陽くん (迫町舟橋)



中野凌太郎くん (迫町駒木) 堀越 優斗くん (迫町大綱南) 名生 大雅くん (迫町光ヶ丘東) 湯上 通人くん (迫町江合) 小室 心葉ちゃん (登米町鉄東) 櫻井 美月ちゃん (登米町金谷) 須藤 蒼士くん (登米町下町) 連沼 陽彩ちゃん (登米町新町)



高橋 篤弘くん (東和町水川2区) 千葉 陽斗くん (東和町錦織4区) 千葉 結都くん (東和町錦織5区) 上畑 夢愛ちゃん (中田町堤堤) 及川 日向ちゃん (中田町城内) 小野寺琴音ちゃん (中田町十文字) 境 燦太くん (中田町南町) 榎原 梨那ちゃん (中田町加賀野一)



佐々木智穂ちゃん (中田町小島) 佐藤 愛咲ちゃん (中田町長根) 高倉 燈くん (中田町新田) 高橋 晴くん (中田町茶屋) 永沼 凜空くん (中田町館) 三浦 玲実ちゃん (中田町蓮原) 山内 日葵ちゃん (中田町露六荒谷) 安藤 紗良ちゃん (米山町六軒屋敷)



及川 憂奈ちゃん (米山町六軒屋敷) 佐々木環那ちゃん (米山町三日町) 佐々木 柚ちゃん (米山町新町) 鈴木 陽太くん (米山町千真)



千葉 梨乃ちゃん (米山町土地区) 鈴木 糸英ちゃん (石越町声倉) 林 瑞峰くん (石越町第9) 小島 杏織ちゃん (南方町北本郷)



熊谷 采音ちゃん (津山町横山6区)

むし歯がなかった子は、市内9地区で54人中41人でした

妊婦歯科健診を受けましょう

市は、妊婦を対象に、歯科健診を実施しています。妊娠すると、ホルモンバランスの変化から、歯肉が腫れたり、虫歯になりやすい状態となります。妊婦が重度の歯周病になると、早産や低体重児出産の頻度が高まります。

生まれてくる赤ちゃんのために歯科健診を受け、お口の中の健康状態を確認しましょう。

【対象者】平成30年4月1日以降に母子手帳を交付された妊婦

【健診費用】無料

【受診方法】市内協力歯科医療機関に予約の上、受診してください

【持ち物】登米市妊婦歯科健診受診券、母子健康手帳、健康保険証(治療する場合に必要となります) ※受診券は母子手帳交付時に交付しています。

※平成30年4月1日以降に他の市町村で母子手帳を交付された転入者も対象となりますので、該当する人は各総合支所市民課に申し出てください。

【問い合わせ】市民生活部健康推進課(地域保健係)

☎0220(58)2116

今月は中田図書室です

一般向け

子ども向け

PICKUP-04 「言葉通りすぎる男 深読みしすぎる女」



堀田 秀吾/著
同じ「説明して」という言葉でも、男は理解したい、女は謝ってほしいという意味に。言語学博士が、男女のすれ違いを生じさせる言葉の違いを探ります。

PICKUP-05 「くらべる世界」



おかべ たかし/文・山出 高士/写真
日本の当たり前が、世界ではこんなに違う。「朝ごはん」「カレンダー」「ネクタイ」などを取り上げ、世界の異なる2カ国間での違いを写真で比べて解説します。

PICKUP-06 「100歳の100の知恵」



吉沢 久子/著
100歳の生活評論家が、毎日の生活の中で見つけた「幸せに生きる方法」「暮らしのアイデア」「簡単に作れるおいしい料理」などを伝授します。

PICKUP-01 「よくわかる銀行」



戸谷 圭子/監修
銀行の仕組みと、そこで働く人たちの仕事を紹介。世の中のお金の流れ、銀行と社会の結びつきや経済の基礎知識などを分かりやすく解説しています。

PICKUP-02 「洪水の前」



赤川 次郎/著
深夜になると現れる不思議な路面電車。乗り込むと、電車は1945年の夏、戦争中の広島へと向かいます。日本と世界の未来を鋭く見つめるミステリー作品集。

PICKUP-03 「にゅうしちゃん」



minchi/作・絵
最初の歯のお友達「にゅうしちゃん」がやってきました。これで、ご飯やお菓子も食べられます。知れば知るほど、乳歯を大切に思えるようになる作品。

続々新刊が入荷。詳しくは市ホームページで

Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

インターネットが利用できます

中田図書室には、インターネット閲覧用パソコンを4台設置しており、いろいろな情報を調べることができます。

セキュリティの都合で、閲覧できないウェブサイトがあります。また、印刷やUSBメモリなどへの出力、電子メールの送受信はできませんのでご注意ください。

利用の際は、中田図書室のカウンターに申し出てください。

市立図書館(室)で、利用者登録をしていなくても利用できますので、皆様のご来場をお待ちしています。



- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書室は祝日も開室) ※その他、館内整理など不定期での休館もありますのでお問い合わせください。
- 問い合わせ 迫 図書館 ☎22-9820 登米図書館 ☎52-5330 中田図書室 ☎34-8081

This Month Pick Up Hot Communication

☑ Books

☑ Health

☑ Young

☑ Dream

☑ Child

☑ Half Century

☑ One's Home



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

三浦 昊馬さん

みうら・こうま 東和中1年
東和町・錦織4区

住む人の願いを叶えられる 建築士になりたい

私は、図工などでモノを作ることが好きです。将来は建築士になり、広くリラックスできて丈夫な建物を設計することが夢。住む人や利用者が安心して快適に過ごせ、幸せを感じられる建物を創造したいです。

そのためにも、大学に進学して専門的な知識を身に付け、一級建築士の資格を取得したいです。また、地中海をイメージして作られたスペインの建築家ガウディの建物や、スイスにある環境に優しい住宅「大地の家」なども実際に現地を訪れ、視察してみたいです。世界各国の多様な建物を見学し、有名な建築家についても調べ、匠の技をたくさん吸収して自分の夢を実現したいです。

どこにもないオリジナルのデザインや、建築用の材料も工夫したいと考えています。住む人の願いを聞いて、利用者の目的が叶えられる建築士を目指して頑張ります。

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

三浦 梨々子さん(20)

みうら・りりこ
石越町・駅前

★身長は 156㎝です。

★現在は 今年短大を卒業し、中田町の保育所「森のくまさん」で働いています。保育士になりたいと思ったのは、中学生の頃に職場体験をしたことがきっかけ。大きな家にいるような温かみのある雰囲気、元気な子どもたちや先生たちの優しさがとても印象的で、ここで仕事をしたいと思いました。子どもたちが見せてくれる笑顔にとってもやりがいを感じています。

★自分の性格 「穏やかだね」と言われることが多いです。SNSなどは苦手で、意外とサバサバしてますね(笑)。自分ではおとなしい性格かなと思っています。

★休日は 小学生になる前から続けている裁縫やペットのハムスターの世話をしていることが多いですね。あまりアウトドア派ではないです。最近では、子どもたちが喜んでくれるので、裁縫で手袋に動物などのキャラクターを刺繍した「手袋シアター」を作っています。

★今やってみたいことは 社会人になったので、今までお世話になった分、親孝行したいですね。いつになるか分かりませんが、家族を海外旅行に連れていきたいです。

★理想の男性像 尊敬できる人がいいですね。優しさや思いやりのある人に魅力を感じます。

★登米市について一言 よく保育所の周りを子どもたちと散歩しますが、緑が多く自然を感じられて気持ちいいですね。自分の家の周りもそうですが、登米市の季節感がとても好きです。



Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



お姉ちゃんとお兄ちゃんにかわいがられながら、すくすく育っています。笑顔がみんな大好きです。

2人のお兄ちゃんにかわいがられて、すくすく育っています。



黒澤 心琉ちゃん(11カ月)
2017年7月18日生まれ
米山町・狐崎
洋之さんの次女

佐々木 蒼太くん(8カ月)
2017年10月9日生まれ
中田町・蓬田
健太さんの三男

～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
＜応募方法＞①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字程度)⑧写真データを添付し応募してください <応募先>総務部市長公室広報広聴係
〒987-0511 追町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212ldolMyHome>

電子申請 QR コード





佐藤 榮一さん (88)
すゑ子さん (85)
東和町・米川2区
1957(昭和32)年1月入籍

何でも言い合えつつがら良いんだね

★二人のなれ初めは
【すゑ子】元々うちさこの人が働きに来てだの。その後、改めてお見合いしたね。
★お互いの第一印象は
【榮一】いいんでねがなと思っ
【すゑ子】家でも仕事でも何かにつけて真面目な人。
★結婚当時の思い出は
【榮一】働いてたことばりだね。
【すゑ子】そうそう。馬の世話させられだね。
★これからしたいことは
【榮一】やれることをやっていきたい。趣味の植木したり庭造りしたり、動けるうちはいろいろしたいね。

おらほの道の駅

道の駅「三滝堂」



新しくオープンしたテイクアウトコーナーの商品を笑顔で紹介する道の駅「三滝堂」スタッフの皆さん

今月は、昨年オープンした道の駅「三滝堂」の猪股浩美店長に話しを伺いました。
Q お勧め商品などを教えてください
A 今年のゴールデンウィークにオープンしたテイクアウトコーナーの商品がお勧めです。道の駅の外で気軽に買える物ができ、値段も買い求めやすい商品揃っています。
Q 道の駅「三滝堂」で、開催しているイベントなどを教えてください
A 夏季限定イベントとして旬



レストランコーナーの新商品「牛タンオムレツハヤシライス」890円



さまざまな種類のトマトを販売

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication



眞賀 吉弘さん(83)
東京登米会顧問
登米町(上町)出身

「色褪せない思い出」
私の両親は、共に登米町出身。上京後に結婚したので、子どもたち兄弟は皆、東京育ちだ。
1944(昭和19)年、私が小学3年生のとき、太平洋戦争でサイパン島が陥落。東京が直接空襲される危険があったため、小学3年以上の児童が疎開することになった。私は、両親のふるさと登米町に一人で疎開。中学を卒業するまでの6年半を登米町で生活した。83歳の現在からすれば、6年半という期間は微々たるものだが、子どもから成長期にかけて過ごした登米町での経験は、とても強烈で、当時の記憶はほとんど失われていない。
特に印象的だったのは、小

最後の取組は、双葉山と前田山の一番だったが、双葉山がさつとまわしを取り、きれいなすり足で土俵際に追い詰め、俵を伝って逃げる前田山を簡単に寄り切ってしまった。その見事なすり足は、今の力士たちにも、手本として見てほしいと感じるほどだった。
好天に恵まれた秋の一日、1946(昭和21)年の大相撲登米場所は、盛会裏に終了した。

の「トマトまつり」を開催しています。120件を超える地元農家が道の駅「三滝堂」と契約しており、市内のさまざまなトマトを買うことができます。ぜひ一度お越しください。
【問い合わせ】道の駅「三滝堂」
☎0220(23)7891

まちの文芸
俳句・川柳

作品募集!

●8月号は短歌です。住所氏名・電話番号を記入し、6月29日(金)まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句
水槽に青空知らぬめだか棲む
廃校の錆る鉄棒沓返る
うねりゆく川の流れや猫柳
クレソンに注ぐせせらぎ三滝堂
北の友の公魚釣りの写メ届く
きらめきて流るる北上川や花林檎
目をやれば窓いっぱい若葉かな

- 千葉 泰子 (迫)
小野寺好道 (東和)
春日 悦子 (東和)
菅原いよ子 (東和)
村上 君枝 (東和)
石川 敦子 (中田)
小野寺夕へ子 (中田)

山路にて卵の花垣の一軒屋
放水に湧き立つ水煙虹二重
せつかくの薔をこぼつ蟻の性
北上川や水を重ねて雪解川
峡の辻どの道行くも新樹光
金メダル新樹の柱に湧く歓声
雨あがり吹く風春の空無限
鳥声のこぼるる実生の新樹かな

- 菊地 完二 (中田)
黒田 律子 (中田)
佐々木弘生 (中田)
三浦 しん (中田)
西條 榮孝 (津山)
佐藤喜美子 (津山)
高橋ちよの (津山)
武山より子 (津山)

情報場 Information

催し

お神楽やお囃子など 民俗芸能大会を開催

お神楽やお囃子など、市内の民俗芸能20団体が出演します。

【日時】7月8日(日)午前9時～午後4時
【場所】中田農村環境改善センター

【出演団体】▼上沼法印神楽▼浅部法印神楽▼加賀野神楽▼館神楽▼本宮神楽▼山ノ神楽▼岡谷地神楽▼細野神楽▼嵯峨立神楽▼飯土井神楽▼赤谷神楽▼長下田神楽▼佐沼鹿踊▼とよま囃子▼石森打囃子▼小島田植踊▼嵯峨立甚句▼巻おいとこ踊▼大綱おいとこ踊▼森邑おいとこ踊
【入場料】千円(チケットは登

**夜間納税相談窓口
(6月・7月分)**
【日時】6月28日(木)
7月26日(木)
いずれも午後8時まで
【場所】総務部収納対策課
(迫庁舎1階)
【問い合わせ】
総務部収納対策課(徴収対策係)
☎0220(22)2169

米祝祭劇場などで販売) ※福祉施設入所者やその職員、高校生以下は無料です。
【問い合わせ】登米市民俗芸能協会事務局(担当〓千葉)
☎0220(34)6748



文化活動の成果を発表 第12回登米市民文化祭

市内の文化協会会員や子どもたちの作品展示、ステージ発表をします。日頃の文化活動の成果をぜひ、ご鑑賞ください。

募集

県公共事業再評価 意見を募集

県は、公共事業の再評価の資料を公表し、県民の皆さんの意見を募集しています。
【対象事業】地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅲ期(佐沼工区)道路改良事業

【開催日】7月1日(日)
【場所】迫体育館
【問い合わせ】登米市柔道協会事務局(担当〓佐々木)
☎080(6035)5787

住宅入居者を募集	
募集する住宅	
定住促進住宅	石越定住促進住宅1号棟104号室(1階)、1号棟201号室(2階)、2号棟304号室(3階)、2号棟306号室(3階)(石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=4戸(3DK)/家賃月額=3万500円/駐車場利用は1台まで
	石越定住促進住宅2号棟405号室(4階)、2号棟406号室(4階)(石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=2戸(3DK)/家賃月額=2万7500円/駐車場利用は1台まで
	石越定住促進住宅1号棟505号室(5階)(石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万5900円/駐車場利用は1台まで

【入居資格】住宅に困っている世帯
※定住促進住宅は一定以上の所得があることなどの入居要件があります。駐車場利用は、別途1台2千円かかります。詳しくは、建設部住宅都市整備課までお問い合わせください。
【申込期限】7月4日(水) ※期限厳守
【申し込み】建設部住宅都市整備課(中田庁舎2階)
※郵送不可。
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅整備係)
☎0220(34)2316

【開催日】6月30日(土)、7月1日(日)
【展示発表】▼30日▼午前10時～午後4時▼1日▼午前10時～午後3時
【ステージ発表】午前10時～
【場所】登米祝祭劇場
【入場料】300円(高校生以下無料)
【問い合わせ】登米市民文化祭実行委員会(企画部市民協働課内)
☎0220(22)2173

水上の戦い 河北レガッタ2000

佐沼中学校ボート部、佐沼高校ボート部が出場します。ボート競漕の観戦、応援にぜひ、お越しください。
【開催日】6月29日(金)～7月1日(日)
【場所】アイエス総合ボートランド(宮城県長沼ボート場)
【同時開催】第13回東北中学校ボート大会
【問い合わせ】河北レガッタ実行委員会
☎0220(23)7633

ふるさと夏まつり
in石越の案内
【日時】7月29日(日)午前10時

調べて楽しいグラフ
統計グラフ作品を募集
県は、統計グラフコンクール作品を募集します。
【テーマ】自由です。ただし、小学4年生以下は、児童が観察した結果をグラフ化したもの
【部門】①小学1・2年生の部 ②小学3・4年生の部 ③小学5・6年生の部 ④中学生の部 ⑤高等学校以上の学生および一般の部 ⑥パソコン統計グラフの部
【規格】72・8センチ×51・5センチ(B)

【応募期限】9月4日(火)必着
【申し込み・問い合わせ】県震災復興・企画部統計課(企画普及班)
〒980-08570/仙台市青葉区本町3-8-1
☎022(211)2451

平成30年度 自衛官を募集します
(各種採用試験)

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日
航空学生	日本国籍で高卒(見込み含む) ▶海上自衛隊=23歳未満の人 ▶航空自衛隊=21歳未満の人	7/1⑩ ～ 9/7⑩	【1次】9月17日(月) 【2次】10月15日(月)～21日(日)のうち指定された1日 【3次】下記のうち指定された1日 ▶海上自衛隊=11月22日(木)～12月19日(水) ▶航空自衛隊=11月17日(土)～12月20日(木)
一般曹候補生		7/1⑩ ～ 9/7⑩	【1次】9月21日(金)～23日(日)のうち指定された1日 【2次】10月12日(金)～17日(水)のうち指定された1日
自衛官候補生	日本国籍で18歳以上27歳未満の人	通年	受け付けの際にお知らせします ※社会人などを対象にした試験を7月、8月中に開催。 ※平成31年3月高等学校卒業予定者を対象にした試験を9月17日以降に開催。

給与・処遇など、詳しくは問い合わせください。
【問い合わせ】自衛隊 宮城地方協力本部 登米地域事務所
☎0220(34)2244

【開催日】7月9日(月)～13日(金)午前9時～午後3時20分
【問い合わせ】登米総合産業高等学校(担当〓高橋、熱海)
☎0220(34)4666

【問い合わせ】ふるさと夏まつりin石越実行委員会(事務局〓千田)
☎090(9749)0419

【問い合わせ】登米総合産業高等学校で学校公開週間
地域の皆さんに教育活動を公開します。

【問い合わせ】東北・北海道対抗柔道大会
登米市で初開催
毎年、東北6県と北海道で交互に開催されている柔道大会が、12年ぶりに宮城県で開かれます。皆さんぜひ、ご観戦ください。

DAIYU HOME CENTER
ダイユー・イト 登米中田店
毎月8のつく日 8日 18日 28日 + 毎週土曜日
税引3,240円以上お買上げで
ポイント5倍
レジヤード用品各種大量に入荷しました!

ダイユー・イト 登米中田店案内図 広告
ウジエスーパーさん
マツモトキヨシさん
● 藤玉堂さん
● JAみやぎさん
● 中田総合体育館
● 登米市立登米小学校
● 登米市立登米小学校
ヨークタウン内ダイユー・イト 登米中田店
宮城県登米市中田町石森字駒ヶ原400
TEL 0220-23-9433
営業時間 あさ8時～よる8時まで

確かな技術でまかせて安心 広告
電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検
有限会社 五島電機
登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告
KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社
災害時安定供給施設
■ アクアショップ KUMANEN ■ BFC クマネン ■ 関連企業
■ コインランドリー 清潔空間 ■ なごみの家さくらり ■ 網ネオウイング
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼北畝田 120 番 1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

登米祝祭劇場 7月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
1日① ～ 31日②	●きせつの書 小作品展 【時間】午前10時～午後5時 ※最終日は正午まで 【会場】レストラン 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
3日④	●三遊亭遊馬 第4回もんじゅ寄席 【開演】午後6時30分 【会場】小ホール 【入場料】1000円	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
4日⑥ 5日⑥	●高校芸術合同鑑賞会 わらび座ミュージカル 「KINJIRO! ～本当は面白い二宮金次郎～」 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】2階1600円(当日限定)	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
8日⑧	●HULA HAUOLI 第14回発表会 【開演】午後1時 【会場】小ホール 【入場料】無料	フラ・ハウオリ ☎ 0220(22)3930
10日⑩	●第10回市民ふれあいコンサート 【開演】午後6時 【会場】大ホール 【入場料】無料(要整理券)	登米法人会 ☎ 0220(22)6617
22日⑫	●第8回ボランティアひまわりの会 歌と踊りの祭典 ゲスト 門脇陸男 【開演】午後1時 【会場】大ホール 【入場料】2000円、障がい者と家族は無料	ボランティアひまわりの会 ☎ 080(6037)6221 (及川)
24日⑭	●ベンチャーズ ジャパン・ツアー 2018 【開演】午後6時30分 【会場】大ホール 【入場料】6000円、劇場友の会5400円	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
27日⑯ ～ 29日⑯	●第46回宮城書道研究会・書展 【時間】午前9時30分～午後6時 ※最終日は午後3時まで 【会場】小ホール 【入場料】無料	宮城書道研究会 ☎ 090(1371)1794
29日⑰	●宮城県北芸術振興会 第12回チャリティー芸術祭 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】1000円	宮城県北芸術振興会 ☎ 090(7334)5548

※7月の休館日は、2日、9日、17日、23日、30日です。
※入場料は前売り価格です。

の毎週土曜日午前9時～11時30分、午後1時～3時30分

【要件】大学生以上

【報酬など】
▼教員免許あり 11時間当たり1200円
▼教員免許なし 11時間当たり850円

※別途交通費を支給します。

【申込期限】7月31日(火)

【問い合わせ・申し込み】教育委員会教育部活き生き学校支援室(支援係)
☎ 0220(34)2546

お知らせ

一般競争入札で
国有財産を売却します

【売却物件の所在地・地目・地積】登米市迫町佐沼字内町1-1(佐沼警察署待機宿舎跡地)／宅地／1947.33平方メートル

【申込期間】7月2日(月)～31日(火)

【入札日】8月22日(水)

【入札場所】宮城県庁(会議室)

※詳細は電話で問い合わせいただくか、県ホームページをご覧ください。

【申し込み・問い合わせ】県総務部管財課(財産利用推進班)
☎ 022(211)2353
<http://www.pref.miyagi.jp/site/zairi/>

伐採した木を
無償で提供します

【提供場所】栗原市若柳南下大目前地内

【提供量】約2300本

【申込期間】6月25日(月)～7月6日(金)

【受渡期間】7月12日(木)～13日(金)午後1時30分～5時

※詳細は電話で問い合わせいただくか、県ホームページをご覧ください。

【申し込み・問い合わせ】県東部土木事務所登米地域事務所(河川砂防第一班)
☎ 0220(22)2763
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-mdbk/>

プロアナウンサーから技術を学ぶ

ミヤギテレビのアナウンサーを講師に迎え、マイクに向かう心構えや発声・発音の仕方など、基礎的なアナウンス技術を学習します。

【日時】8月1日(水)午後1時30分～4時

【場所】登米祝祭劇場(小ホール)

【募集人員】高校生・一般40人(先着順)

【受講料】無料

【申込期限】7月20日(金)

【申込方法】電話

【問い合わせ・申し込み】市視聴覚センター
☎ 0220(22)5219

みやぎの明治村 観光ガイドを募集

みやぎの明治村で観光ガイドをやってみませんか。

【活動団体】「みやぎの明治村」とよま観光案内人倶楽部(代表 中澤さち子)

【対象者】①市内在住で人と接することが好きな人 ②登米町の歴史や文化に興味がある人

【募集人員】10人程度

【応募締切】7月31日(火)

【選考方法】8～9月に3回程

親子で体験保育ができません。希望者は、3日前までに電話で申し込みください。

【日時】7月25日(水)午前9時45分～11時

【場所】白鳥ゆめつ子園

【対象者】3歳未満児

【内容】楽しい水遊び

【申し込み・問い合わせ】白鳥ゆめつ子園
☎ 0220(22)1108

大事な命を救うため
普通救命講習会を開催

【日時】7月15日(日)午前9時～正午

【場所】消防防災センター

【定員】30人(先着順)

【申込期限】7月9日(月)

【申込方法】消防署、各出張所にある受講申込書を提出いただくか、電話で申し込みください。

【問い合わせ】消防署救急係
☎ 0220(22)2119

パソコン相談・教室
7月の予定

●無料相談室

【日時・場所】7月22日(日)午前10時～正午／津山町内(問い合わせください)

【申込期限】開催日5日前まで

●パソコン教室

①ワード

【開催日】7月10日(火)

②エクセル

【開催日】7月17日(火)

【申込期限】受講日前日まで

【場所】迫にぎわいセンター

【申し込み・問い合わせ】NPO法人パソコン・ネット・みやぎ
☎ 0220(21)5262

土曜日学習教室
学び支援員を募集

小中学生に学習の場を提供し、学校外での自主的な学習を支援するための学び支援員を募集します。

【期間】平成31年3月31日まで

ねんきんだより

ご存知ですか
国民年金保険料「後納制度」

過去5年以内に納め忘れた国民年金保険料を納付できる「後納制度」を、平成27年10月から平成30年9月まで実施しています。

後納制度を利用することで、年金額を増やしたり、年金の受給ができなかった人が受給資格を得られたりすることがあります。後納制度の利用には申し込みが必要です。詳しくは「ねんきん加入者ダイヤル」またはお近くの年金事務所へお問い合わせください。

【問い合わせ】市民生活部国民年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200
ねんきん加入者ダイヤル
☎ 0570(003)004

<p>人と環境への新しい優しさを目指して お気軽にご相談下さい</p>	<p>株式会社 清建</p> <p>環境プロバイダ</p> <p>本社 / 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658</p>	<p>仙台(営) / 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目18-1 泉ネットワーク・ビル2階 広告 TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980</p> <p>南三陸(営) / 〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313 TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122</p> <p>URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp</p>
	<p>有限会社 清建物流</p> <p>TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535</p> <p>本社 / 〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1</p>	<p>有限会社 リースキン宮城</p> <p>TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495</p> <p>〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字下田中53番地8</p>

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

<p>株式会社 刺蒸くまがい</p> <p>中田中学校通り 0220-34-5002</p>	<p>●働く会社● 法事・宴会 広告</p> <p>中田中学校通り 0220-34-5002</p>
<p>株式会社 誠香社</p> <p>葬儀からご法要までの一環システム</p> <p>登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます)</p> <p>24時間受付 0220-34-4856(代表)</p>	<p>●働く会社● 法事・宴会 広告</p> <p>中田中学校通り 0220-34-5002</p>

7月の納税

固定資産税・・・2期
 国民健康保険税・・・2期
 介護保険料・・・2期
 水利地益税・・・2期
 後期高齢者保険料・・・1期
 忘れずに納めましょう
 納税は便利な口座振替で

納期限 / 7月31日(火)

登米市の人口・世帯数

(平成30年5月末現在)

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,613	10,011	10,602	20,613 (▲18)
登米	1,805	2,339	2,537	4,876 (▲6)
東和	2,375	3,154	3,286	6,440 (▲13)
中田	5,089	7,664	8,002	15,666 (▲16)
豊里	2,145	3,290	3,360	6,650 (▲7)
米山	2,820	4,506	4,670	9,176 (▲3)
石越	1,586	2,445	2,477	4,922 (▲5)
南方	2,686	4,222	4,423	8,645 (▲5)
津山	1,171	1,594	1,743	3,337 (▲6)
合計	27,290	39,225	41,100	80,325 (▲79)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています。

市内の交通事故発生状況

(平成30年5月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H30	H29	増減数
人身事故発生件数	67件	87件	▲20件
死者数	1人	1人	0人
負傷者数	84人	115人	▲31人
物損事故発生件数	709件	668件	41件

※平成30年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)

警察署からのお知らせ

安全で安心して暮らせる登米市の実現
「みんなで登米っ 高齢者の事件・事故」
 ～高齢者の事故防止～

梅雨が明けると歩行者の外出機会が増え、交通事故の被害に遭う割合が高くなります。歩行者に対する思いやりのある運転に努めましょう。

市内放射線の測定結果

測定日:平成30年6月1日 単位:マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.04	曇り
消防署北出張所(石越)	0.05	曇り
消防署東出張所(東和)	0.04	曇り
消防署津山出張所	0.04	曇り
消防署南出張所(豊里)	0.04	曇り
消防署西出張所(南方)	0.04	曇り

空間放射線量の測定結果はホームページに掲載およびメール配信しています。

【日時】7月27日(金)午後1時15分～4時15分
 【場所】迫にぎわいセンター
 【担当】柳瀬勝一(司法書士)
 【相談専用電話】☎0220(34)2308
 【相談料】無料(要電話予約)
 【問い合わせ】産業経済部商業観光課(商業振興係)

一人で抱え込まないで
多重債務者無料法律相談

【日時】7月18日(水)午後1時～4時
 【場所】7月18日(水)午後1時30分～3時30分
 【申込方法】7月12日(木)まで

女性のための面接相談・
こころのケア講座を開催

離婚、セクハラ、家族の悩みごとなど、人間関係で悩む女性のための面接相談および講座を開催します。相談は無料で、秘密は守ります。

【日時】7月18日(水)午後1時～4時
 【場所】7月18日(水)午後1時30分～3時30分
 【申込方法】7月12日(木)まで

暮らし、仕事などの悩み
相談に応じます

生活の悩み、心配ごとを専門知識を持つ支援員に相談してみませんか。相談は無料で、秘密は守ります。なお、出張相談は事前に予約が必要です。

【予約・問い合わせ】くらし・しごと相談センターともまち

出張相談日程・場所

開催日	時間	場所
7月17日(火)	9:30～11:30	津山老人福祉センター
	13:30～15:30	豊里公民館
8月21日(火)	9:30～11:30	登米公民館
	13:30～15:30	錦織公民館

カウンセラーによる教育相談日

相談日	相談時間		
7月	5日(木)	①10:00～10:50	
	19日(木)	②11:00～11:50	
	26日(木)	③13:00～13:50	
		④14:00～14:50	
	8月	30日(木)	⑤15:00～15:50
			⑥16:00～16:50

環境教育リーダー
育成講座を開講

宮城教育大学教授などの専門家から、地域の自然環境の保全方法などを学習します。

【開講時期】7月下旬から月1、2回程度(計8回予定) / 平日昼間に開講予定
 【講座内容】地球温暖化の影響および動植物についての学習など

後期高齢者医療被保険者証と「国民健康保険高齢受給者証」の有効期限は、7月31日です。新しい被保険者証や受給者証は、7月下旬に簡易書留で郵送します。受け取った後、記載内容に誤りがないかを確認してください。現在使用中の被保険者証や受給者証は、有効期限が過ぎたら破棄してください。

【問い合わせ】市民生活部国保

ラベルは取り外して
リサイクルの徹底を

資源ごみペットボトルは、キャップとラベルを取り外して、リサイクルステーション

市は、官民協働事業により、「くらしの便利帳」を9月に発行する予定です。くらしの便利帳は、市の各種手続きなどの行政情報のほか、自然や文化、イベント、特産品などの地域情報を紹介したもので、市内全世帯に配布します。7月上旬までに共同発行事業者であるサイネックスから、市内の事業所などへ有料広告掲載の案内をしますので、ご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ】企画部企画政策課(企画政

障がい者の自立に向けて
しごと相談を開設

【日時】7月24日(火) ①午前9時30分～②午前11時～③午後1時30分～④午後3時～
 【場所】県東部保健福祉事務所登米地域事務所
 ※職業のあっせんではありませんのでご注意ください。

【相談・申し込み・問い合わせ】▼障害者就業・生活支援センター

相談

年金相談に応じます
年金相談所を開設

年金の相談に応じます。相談は完全電話予約制。前日までにご連絡ください。

【日時】7月26日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分
 【場所】市役所南方庁舎(2階中会議室)
 【予約・問い合わせ】古川年金事務所
 ☎0229(23)1200

ご利用ください
求人情報コーナー

各総合支所にハローワーク求人情報コーナーを設置しました。求人情報は、市ホームページでも公開しています。

【問い合わせ】
 ▼求人情報の内容ハローワークはさま
 ☎0220(22)8609
 ▼求人情報コーナー＝産業経済部工業振興課(工業振興係)
 ☎0220(34)2706



【受講料】無料
 【定員】10人程度
 【申込要件】市内在住、または市内で勤務する20歳以上の人が
 【申込方法】申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入の上、持参いただくか、電子メール、ファクシミリなどで申し込みください
 【申込期間】6月19日(火)～7月6日(金)
 【申し込み・問い合わせ】市民生活部環境課(環境政策係)
 〒987-1044 6 / 登米市南方町新高石浦1-30
 ☎0220(58)5553
 ☎0220(58)3345
 ✉kanky@city.tomenyagi.jp

後期高齢者医療被保険者証と「国民健康保険高齢受給者証」の有効期限は、7月31日です。新しい被保険者証や受給者証は、7月下旬に簡易書留で郵送します。受け取った後、記載内容に誤りがないかを確認してください。現在使用中の被保険者証や受給者証は、有効期限が過ぎたら破棄してください。

【問い合わせ】市民生活部国保

耕作放棄地や不作付け地などの遊休農地は、病害虫や有害鳥獣の発生の原因になるなど、周辺地域の営農、生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。遊休農地の発生防止・解消や実態把握、農地の違反転用を防ぎ、有効に利用するため、農地利用状況調査(農地パトロール)を実施します。調査の際は、農地に立ち入り、状況写真を撮影する場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

【時期】7月上旬～9月
 【調査員】農地利用最適化推進委員および農地利用状況調査員
 【対象地】市内全域の農地
 【問い合わせ】農業委員会事務局(農地管理係)
 ☎0220(34)2317



分別して出してください。
 キャップは透明な袋に入れ、プラスチック製ボトル容器のコンテナへ。ラベルは、燃やせるごみに出してください。

【問い合わせ】環境事業所クリンセンター
 ☎0225(76)0102

くらしの便利帳
有料広告掲載のご案内

市は、官民協働事業により、「くらしの便利帳」を9月に発行する予定です。くらしの便利帳は、市の各種手続きなどの行政情報のほか、自然や文化、イベント、特産品などの地域情報を紹介したもので、市内全世帯に配布します。7月上旬までに共同発行事業者であるサイネックスから、市内の事業所などへ有料広告掲載の案内をしますので、ご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ】企画部企画政策課(企画政

ときめき人

Tokimeki bito



かやぶきの魅力は 外観だけじゃない 使われてこそ 価値がある

豊里町・新町

小林 功さん

こばやし・いさを
1973年生まれ



遠田郡涌谷町にある竪穴式住居の構造をした作業場。かやぶきに興味を持ってくれた人が、葺き替えを体験できるようにあえて未完成のままにしている。

「縄文時代から使われているかやぶきは、古いイメージがありますよね。でも、実は最先端なんです」と全国でも100人ほどしかいないという、かやぶき職人の小林さんは笑う。

15年間石巻市のかやぶき屋根会社で修業後、独立。現在は原料となるヨシなどの刈り取りから運搬、葺き替えまで全て一人で担っている。

現在国内では、特例の場合を除き、かやぶき屋根の建築物は新築できない。すでにある建築物の修繕に限られているが、それでもかやぶきの魅力を伝えていきたいと小林さんは話す。「海外だと、何気ない街並みでもシャッターを切りたくなりますよね。そんな魅力がかやぶきにはある。言葉では言い表せない魅力を伝えたい」と目を輝かせる。

かやぶきの魅力は見た目だけではない。屋根材にすると瓦の倍ほどの重さになり、地震に強い。原料は、草刈りなどで処分されるヨシなどだが「新しいものに買い替えるのではなく、普段捨てているものを利用することが一番のエコ。現代の使い捨てる概念を変えたい」。

世界中で「MOTTAINAI」という言葉が注目される中、ヨーロッパなどではかやぶき屋根の建物が増えているという。「かやぶきを使った犬小屋や門松も作っています。大事なものは中身。使うことで素晴らしいさに気付いてもらいたいですね」。

ただ「残す」ではなく、その価値を伝えたい。かやぶきがもっと身近になることを願い、魅力を伝える続ける小林さんは、今日も作業に汗を流している。

編集後記

▼今号では特集を担当。観光パンフレットには書いていない歴史や物語を知ることができ、地域には、まだまだ隠れた魅力があると感じました。今の私たちの生活があるのは先人の知恵や工夫のおかげ。皆さんも、地域の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。(高橋)

▼取材でカメラを使うようになり約2カ月。少しずつですが、場面ごとに設定を調整できるようになりました。ただ、人を撮るのは難しいですね。撮影した場所では同じに見えても、後で確認すると一コマ一コマの表情が違います。取材する人の一番良い表情を伝えていきたいです。(三浦)

▼写真撮影研修会「基礎編」に行ってきました。異動後すぐに、カメラの使い方や撮影のコツを教えてもらいましたが、実務を経て1カ月半後に改めて学ぶことで、より理解できたような気がします。写真技術の向上に励み、何回でも見たくなる写真を掲載できるように頑張ります。(小野寺)



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<https://mail.cous.jp/tomecity/>

